

白井市商工業の活性化に向けたアンケート

1 調査目的

白井市内の商工業事業者に対し、経営状況や経営課題などを聞き、今後の白井市産業振興計画の策定及び第5次総合計画後期基本計画策定のための基礎資料とする。

2 調査の方法

- (1) 調査地域・・・白井市全域
- (2) 調査対象・・・白井市内商工業者
- (3) 抽出方法・・・商工会加盟店全店
- (4) 調査方法・・・対象事業者に郵送し、FAX 及び直接回収
- (5) 調査期間・・・令和元年11月1日～令和元年12月27日

3 回収結果

配布数	回収数	回収率
550	90	16.4%

4 アンケート集計結果考察（事務局）

アンケートの集計結果から、従業員3人未満の事業所が約5割、10人未満は約8割と、小規模事業者、個人経営としている事業者が多い現状である。事業主、経営者の年代も50代以上が約6割を超え、若手事業主が少なく、事業主の高齢化が進んでいる中で、担い手不足など事業承継が進んでいない状況も考えられる。

営業年数も30年以上経過した事業者が約5割を超え、逆に5年未満の事業者は約1割で、新規出店、創業が少ないことが考えられ、活性化のためには企業・店舗誘致や創業機運の醸成も必要なことではないかと考えられる。

経営状況については、5年前と比較し、約4割の事業者が増加傾向と回答している一方で、減少傾向と回答している事業者も約4割あり、業績、経営状況が厳しい事業者も少なくなく、地域商業の振興には経営支援が必要なことと考えられる。

経営課題では、人材不足、雇用の確保が最も多く、事業主の高齢化を踏まえると、人材確保が重要な課題となっている。市に求める支援としては融資制度の維持・拡充や人材確保に対する支援が多く、地域商業の持続的発展のためには、人材の確保と経営基盤の強化への支援が重要な取り組みと考えられる。